

がれき撤去における感染予防のポイント

-傷の化膿や破傷風について-

■ 感染を予防するには？

被災地域で壊された建物を撤去したり、下水などがあふれていた場所で汚泥の撤去作業を行う場合は、次のことに注意しましょう。

- けが防止のため、**素肌を露出しない**服装（長袖、長ズボン）で行いましょう。
- 丈夫な手袋、長靴、安全靴**などを身につけて、水や土、汚染された廃材などを素手でさわったり、釘などを踏み抜いたりしないよう体を保護しましょう。
- ガラスなどのケガや、棘が刺さったりした場合は、一旦作業を中止し、傷ついた場所を清潔な水でよく洗浄し、傷が汚れた環境に直接さらされないように、絆創膏などで保護しましょう。
- 傷が深い場合や棘などが残ってしまった、傷口が化膿した、破傷風を疑う症状(下記)がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。**
- 作業が終了したら、石けんと流水でよく手を洗いましょう。
手洗い用の水が確保できない場合は、ウェットティッシュなどで汚れを落とし、速乾性刷り込み式アルコール性消毒薬を使用してください。

■ 化膿症はどんな感染症なの？

傷の化膿症は、土や皮膚にいるばい菌が傷口で増殖し、痛みや発赤、膿がでたりします。

■ 気をつけることはなんですか？

糖尿病などの方は特に注意が必要です。医療機関で傷口の消毒や処置が必要ながあります。

■ 破傷風はどんな感染症なの？

破傷風は、土の中にいる**破傷風菌**が傷口から感染・増殖し、毒素によって、発症します。感染してから症状が起こるまで3日から3週間くらいかかるとされています。

■ 気をつけることはなんですか？

特徴的な症状は、「あごのこわばり」で口が開きにくくなります。

加えて、「ものを飲み込みにくい」、「けいれん」などがみられ、進行すると呼吸困難などをきたすことがありますので、医療機関への受診と治療が必要です。

出典：宮城県疾病・感染症対策室 東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学分野、臨床微生物解析治療学、感染症診療地域連携講座、東北感染制御ネットワーク より

手洗いで感染症予防



1 流水で手を洗う



2 洗剤を手に取る



3 手のひら、指の腹面を洗う



4 手の甲、指の背を洗う



5 指の間(側面)、股(付け根)を洗う



6 親指と親指の付け根のふくらんだ部分を洗う



7 指先を洗う



8 手首を洗う(内側・側面・外側)



9 洗剤を十分な流水でよく洗い流す



10 手をふき乾燥させる



11 アルコールによる消毒

2度洗いが効果的です!

2～9までの手順をくり返し2度洗いで菌やウイルスを洗い流しましょう。

※アルコールは、ノロウイルスの不活化にはあまり効果がないといわれています。

©公益社団法人日本食品衛生協会

【問合せ】宇城市健康づくり推進課 Tel 0964-32-7100

(公社) 日本食品衛生協会 平成26年度食品衛生指導員巡回指導資料より